

# よこすか次世代育成プラン

## 具体的施策の実施状況

よこすか次世代育成プランP19

### 第4章 具体的施策

第3章のプランの目標に向けて、以下の施策に取り組み、子どもを産み育てやすく、子どもや青年が健やかに育つ環境づくりを着実に推進していきます。

## 1 子育て支援の推進

### (1) 子育て支援体制の充実

#### ① 家庭等における養育支援

1	ア 出前型子育て相談、訪問指導、訪問相談の充実				
生後4か月までの乳児がいる家庭への訪問指導、相談などにより個々の家庭に対する支援を充実します。子育てアドバイザーや保健師、管理栄養士、歯科衛生士が、求めに応じて地域でのイベント、集会、子育てグループの活動の場で、出前型育児相談を行います。					
担当課	こども健康課 保育運営課 保健所健康づくり課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年度から生後4か月までの乳児がいる家庭を保健師、助産師が訪問する「こんにちは赤ちゃん訪問」を行っている。 25年度実績 6,240件</li> <li>・19年度から、地域の子育てグループ支援に加え、妊娠中から産後4か月までの子と親を対象とした出張型妊産婦おしゃべりサロンを開催している。 25年度 子育てグループ支援/224回 3,310人 子育てグループ支援(歯科)/実績なし 出張型妊産婦おしゃべりサロン/35回 518人</li> <li>・12年度から、子育てアドバイザーによる出張親子サロン「わいわい広場」を開催。 25年度 市内11か所で66回開催</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、「こんにちは赤ちゃん訪問」を実施し、早期から各家庭に沿った相談や情報提供を行う。</li> <li>・地域の子育てグループ支援や出張型妊産婦おしゃべりサロンを継続して実施する。</li> <li>・出張親子サロンを継続して開催する。</li> </ul>				

2	イ ファミリー・サポート・センターの充実					【26年度までに1か所】
ファミリー・サポート・センターの支援会員を市内全域で確保するよう努めます。支援会員の資質の維持、向上のための研修会や支援会員、依頼会員同士の交流会を行い、制度の活性化を図ります。						
担当課	保育運営課					
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13年度からファミリーサポートセンターを1か所設置している。年2回養成研修を開催し、支援会員の確保を行い、年1回支援会員のフォローアップ研修にて資質の向上に努める。合同で地域交流会を行い、会員同士の交流を深めた。</li> </ul>					
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、制度の周知や支援会員の資質向上に努め事業の活性化を図っていく。</li> </ul>					

3	ウ 家庭保育福祉員制度の充実	【26年度までに家庭保育福祉員数20人】			
少人数保育のニーズに対応するため、家庭保育福祉員の自宅での家庭的な保育事業を充実します。					
担当課	保育運営課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・25年度実績</li> <li>家庭保育福祉員 9人（うち保育士資格あり 8人）</li> <li>利用児童数 延142人</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度中に家庭保育福祉員を募集し、3人増を予定している。</li> <li>・引き続き、現任研修などの研修を通し、保育の質を高めることで、制度の充実を図る。</li> </ul>				

4	工 育児支援家庭訪問事業の推進				
さまざまな原因で子育てが困難になっている家庭にヘルパーや助産師を派遣し、育児、家事の援助や育児に関する技術指導を行うことにより、子育ての負担の軽減や環境の改善を図ります。					
担当課	こども青少年支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・養育支援が必要な家庭に訪問援助を行っている。</li> <li>25年度実績 ヘルパー派遣19件（延251回） 助産師派遣7件（延36回） ケース会議55回</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、養育支援が必要な家庭への訪問を実施する。</li> </ul>				

② 子育て支援に関する相談体制の充実と情報提供、ネットワークづくりの支援

5	ア 保健、医療、福祉のネットワークづくり				
保健、医療、福祉の連携を図り、妊娠、出産や子育てに対して適切な支援ができるよう、関係機関の職員で構成する連絡会の開催等により、ネットワークを強化していきます。					
担当課	こども健康課 こども青少年支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出産を取り扱っている市内総合病院及び近隣総合病院、助産院、訪問指導員、関係職員による周産期保健看護連絡会を年1回、開催している。</li> <li>・妊娠中から出産後に、医療機関において親への継続的な支援が必要と判断された場合、継続看護連絡票により市が連絡を受け、家庭訪問等につなげている。</li> <li>・17年度にこども家庭地域対策ネットワーク会議を設置し、児童福祉機関、保健医療機関、教育機関、警察機関の連携強化を図っている。個人情報保護に配慮しながら、要保護児童等に関する情報の共有化を図り、支援方針や各機関の役割を確認している。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、年1回、周産期保健看護連絡会を開催するとともに、ネットワークを生かし、子ども虐待の予防、早期発見、適切な対応のため関係機関の連携を図っていく。</li> </ul>				

6 イ 関係部局での相談体制の充実と情報提供					
「はぐくみかん」での子どもや青少年に関する総合相談機能を充実させるとともに、広報や子育てガイド、ホームページなどにより子育て支援や青少年の健全育成に関する情報を提供します。					
担当課	こども育成総務課    こども青少年支援課    こども健康課    児童相談所    支援教育課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年4月に子どもや青少年に関する総合的・一体的な取り組みを進めていくための拠点として開設した「はぐくみかん」で、総合相談を行っている。</li> <li>・ホームページや広報に子育て支援や青少年の健全育成に関する情報を掲載している。</li> <li>・子育てガイドの冊子を作成し、母子健康手帳交付時や転入時に配布している。 子育てガイド2014版 8,500部発行</li> <li>・発達が気になる方に療育すこやかガイドブックを2,500部作成し配布すると共に支援者用として療育相談ハンドブックを1,100部作成し配布している。</li> <li>・発達相談に関する連携を図るため、心理相談員連絡会を年1回開催している。</li> <li>・就学相談や教育相談等では、各課の相談担当や心理職などに委員委嘱を行い、支援の継続性と指導内容の充実に努めた。</li> <li>・相談支援チーム等では、継続支援や将来に向けての見通しのある取り組みができるシステム作りについて取り組んだ。</li> <li>・子育てガイド等の冊子を作成し、母子健康手帳交付時やこんにちは赤ちゃん訪問時等に配布している。 25年度実績 母子保健テキスト「HAGUKUMI BOOK」3,200部発行 子育て情報パンフレット「こんにちは赤ちゃん」3,650部発行</li> <li>・支援教育課と、こども青少年支援課、児童相談所とで連携を図りながら、本人・保護者や学校支援を行った。</li> <li>・登校支援が必要な児童生徒の相談教室利用時の面接や継続相談を、支援教育課と、こども青少年支援課、児童相談所が連携して行った。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さらに利用しやすい相談窓口を目指すとともに、ホームページや広報に子育て支援や青少年の健全育成に関する情報を掲載し、支援を必要とする人に情報が届くよう、情報提供を継続</li> <li>・毎年、情報を更新して子育てガイド等を作成していく。</li> <li>・引き続き、市民用療育すこやかガイドブックと支援者用の療育相談ハンドブックを作成・配布する。</li> <li>・充実した相談体制をめざして、さまざまな部署と連携して取り組み、情報提供を行う。</li> <li>・不登校相談や教育相談、相談教室の利用の窓口を継続。</li> </ul>				

7	ウ 地域での相談体制の充実と情報提供 【26年度までに地域子育て支援拠点事業 センター型 4か所 親子サロン 4か所】				
地域の身近な相談窓口である健康福祉センターや親子サロン、保育園などで、また、幼稚園や学校への相談員の配置などにより、子どもや子育てに関する相談に対応するとともに、必要な情報を提供します。子育て支援や青少年育成の関係団体、機関と連携し、相談体制を充実させます。					
担当課	こども健康課 保育運営課 支援教育課 こども育成総務課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13年度から一部の健康福祉センター、20年度からすべての健康福祉センターで育児相談日（にっこり相談）を実施している。 25年度実績 30回 1,851人</li> <li>・健康福祉センターで、心理相談員による親のメンタルヘルス相談を実施している。 25年度実績 延90人</li> <li>・こども健康課で、悩みを抱える保護者のための心理相談、精神科医によるメンタルヘルス相談等を実施している。 25年度実績 延752人</li> <li>・こども健康課と健康福祉センターで保健師による随時相談を行っている。</li> <li>・11年度に子育て支援センター「愛らんどよこすか」14年度に「愛らんど追浜」を開設し子育てアドバイザーによる子育て相談を実施している。各健康福祉センターにも愛らんどを設置するとともに、補完事業としてコミュニティーセンターなど市内11会場で、出張親子サロンを25年度3月末実績66回開催し子育て相談の場を提供している。</li> <li>・小学校ふれあい相談員46校46人配置・登校支援相談員23校23人配置・支援教育コーディネーター市立学校73校74人配置</li> <li>・新規に小学校スクールカウンセラー配置4校・支援教育コーディネーター連絡会年7回・各種研修10回</li> <li>・子ども会指導者協議会や母親クラブ連絡会、青少年関係団体との連携や活動支援を通じて、地域での子育て支援、青少年の健全育成を推進している。</li> <li>・公立保育園において、毎月1回園庭開放を行うほか、行事に招待するなど集団保育の体験や子育て相談に対応し、在宅で保育している世帯の子育てを支援している。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、スクールカウンセラーや相談員、支援教育コーディネーターの配置を行う。</li> <li>・引き続き、青少年関係団体との連携や活動支援を行う。</li> <li>・引き続き、相談体制の充実に努める。</li> </ul>				

8	エ 子育てグループ等の活動支援				
子育てグループの組織化や活動を支援します。子育て中の親が気軽に安心して集える場として、既存の公共施設の活用を促進します。また、子育て中の親と高齢者がふれあう機会を提供します。					
担当課	保育運営課 こども健康課 こども育成総務課 教育・保育支援課 保健所健康づくり課 教育指導課 高齢福祉課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の子育て支援センターや市のホームページで子育てグループの情報を紹介している。</li> <li>・育児教室等を契機とした子育てグループ支援を実施している。 25年度実績 子育てグループ支援/224回 3,310人 子育てグループ支援（歯科）/12回 539人</li> <li>・単位母親クラブへの補助金交付のほか、母親クラブ連絡会への明るい家庭・地域づくり推進事業の委託を通じて母親クラブ活動の支援を行っている。</li> <li>・みんなの家等15館は、子育てグループの活動の場や子ども連れの親たちの交流の場としても利用されている。青少年会館は、母親クラブの会議・研修・行事の場所として利用されている。</li> <li>・保育園や幼稚園に通う子どもの保護者に、施設を活用して子育てグループの活動情報を提供している。また、保護者の自主的な活動の場として施設を提供したり、教諭・保育士も共に活動し、支援を行っている。放課後の園庭開放により親同士が子育てに役立つ情報を交換する場を提供している。</li> <li>・世代間交流事業は22年度で事業廃止。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、子育てグループの情報を提供を行う。</li> </ul>				

9	才 主任児童委員の活動支援				
主任児童委員が子育てに悩みや不安を抱える保護者の相談の対応やサポートができるよう、活動の場の提供や職員の派遣など、地域の実情に応じた支援を行います。					
担当課	保育運営課  こども健康課  福祉総務課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>各健康福祉センターで主任児童委員連絡会議を定期的実施している。</li> <li>主任児童委員が出張親子サロンに参加し、子育てアドバイザーと共に見守りや子育て相談を行っている。25年度実績 親子サロン実績 市内11か所で55回開催、サロンが主任児童委員と子育て中の母親をつなぐ機会となっている。</li> <li>主任児童委員が出張型妊産婦サロンに参加して、主任児童委員と子育て中の母親をつなぐ機会となっている。</li> <li>地域で主任児童委員が開催する講習会などに、職員が講師として協力している。</li> <li>横須賀市民生委員児童委員協議会に主任児童委員の活動費を支給するほか、研修を行っている。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、出張親子サロンなどの活躍の場を提供し、職員や子育て支援アドバイザーの派遣を行い、連携を図り、主任児童委員の活動を支援していく。</li> <li>引き続き、出張型妊産婦サロンなどの活躍の場を提供し、連携を図り、主任児童委員の活動を支援していく。</li> <li>引き続き、活動費の支給や研修の実施等により、主任児童委員の活動を支援していく。</li> </ul>				

### ③ 子育て家庭への経済的支援

10	ア 小児医療費の助成				
子育てにかかる経済的負担を軽減し、適切な医療を早期に提供するため、通院は小学校就学前まで、入院は中学校卒業まで、医療費の一部を助成します。					
担当課	こども青少年給付課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	平成25年度 受給者 24,876人（平成26年2月末現在）				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は、小学校就学前までから小学校2年生まで年齢拡大を25年10月から開始。</li> <li>平成26年度は、4月から小学校3年生まで対象年齢を拡大する。</li> <li>財政基本計画と連動させながら、平成29年度までに通院の対象年齢を小学校6年生まで拡大する。</li> </ul>				

11	イ 幼稚園就園奨励費の支給				
幼稚園児がいる世帯の経済的負担を軽減するため、保育料の一部を助成します。					
担当課	教育・保育支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	25年度実績、私立幼稚園52園 4,858人 公立幼稚園2園 10人				
今後の予定	今後も引き続き、国の補助事業の内容に沿って助成を続けていく。				

(2) 保育サービス等の充実

12	<b>ア 保育園定員の拡充</b>	<b>【26年度までに通常保育事業 41か所 定員3,910人】</b>			
保育ニーズに対応するため、既設保育園の受け入れ人数の増などにより、保育園定員を拡充します。					
担当課	こども施設指導監査課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童数等地域の実情に合わせ定員の拡充を行っている。</li> <li>23年度 41か所 定員3,825人</li> <li>24年度 41か所 定員3,864人</li> <li>25年度 41か所 定員3,902人</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備等定員の拡充を図る予定。</li> <li>27年度 41か所 定員3,927人予定</li> </ul>				

13	<b>イ 延長保育、休日保育の拡充</b>	<b>【26年度までに延長保育事業 41か所 休日保育事業2か所】</b>			
就労時間の多様化による保育ニーズに対応するため、地域性なども考慮し延長保育、休日保育の実施設を拡充します。					
担当課	こども施設指導監査課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様化した保育ニーズに対応するため、延長保育・休日保育の充実を図っている。</li> <li>25年度延長保育実施園 41か所</li> <li>休日保育実施園 1か所</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、延長保育・休日保育を継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて拡充を検討する。</li> </ul>				

14	<b>ウ 特定保育（週3保育）の推進</b>	<b>【26年度までに1か所】</b>			
パート労働、定期的な看護、介護などのために、週2～3日、保護者が保育できないときに子どもを預かる特定保育を行います。					
担当課	保育運営課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上町保育園において、特定保育を実施している。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、特定保育を継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて拡充を検討する。</li> </ul>				

15	工 一時預かり事業の拡充				【26年度までに8か所】
家族の病気等、やむを得ない事情で保護者が保育できないときに一時的に子どもを預かる一時預かり事業を拡充します。					
担当課	こども施設指導監査課				
対 象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実 績	・公立保育園2か所、私立保育園6か所の計8か所で、一時預かり事業を実施している。				
今後の予定	・引き続き、8保育園での一時預かりを継続するとともに、潜在的ニーズの把握に努め、必要に応じて拡充を検討する。				

16	才 届出保育施設の育成				
保護者が安心して子どもを預けられるよう、届出保育施設の育成に努めるとともに、指導、監督を行います。					
担当課	こども施設指導監査課				
対 象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実 績	・届出保育所への指導、監督を行っている。 25年度届出保育所 28か所				
今後の予定	・引き続き、届出保育所への指導、監督を行う。				

17	力 幼稚園での預かり保育の拡充				【26年度までに37か所 夏休み37か所】
幼稚園での預かり保育の受け入れ人数や保育時間、夏休みなど長期休業中の実施園数を拡充します。					
担当課	教育・保育支援課				
対 象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実 績	・25年度実績 平日 実施園数 37園のうち36園で実施 受入人数 1園平均 10.3人 終了時刻 平均17時45分 夏休み 実施園数 37園のうち23園で実施				
今後の予定	・引き続き、幼稚園での預かり保育の状況を把握する。				

18	<b>キ 保育士、幼稚園教諭等の研修の実施</b>				
保育や幼児教育の質を高めるとともに、保護者の相談に対してより適切な助言、対応ができるよう、保育士、幼稚園教諭等の研修を実施します。					
担当課	保育運営課 教育指導課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士研修実施機関に補助金を交付し、研修受講体制の整備を図っている。</li> <li>・研修等の経費の一部として、幼稚園協会に補助金を交付している。</li> <li>・幼稚園教諭、保育士を対象とした研修講座を実施し、よりよい保育や幼児教育についての意識啓発を行っている。</li> </ul>				
今後の予定	・引き続き、研修受講体制の充実を図っていく。				

19	<b>ク 病児、病後児保育の充実</b>			<b>【26年度までに1か所 年間 延472人】</b>	
病気や病気回復期の子どもの保育ニーズに対応するため、医療機関等との連携により保護者が安心して子どもを預けられる病児、病後児保育を充実させます。					
担当課	教育・保育支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児健康支援サービスセンター1か所（定員5人）を指定管理により運営し、病児・病後児を受け入れている。 25年度利用児童数 延392人</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、乳幼児健康支援サービスセンターでの保育を継続するとともに、潜在ニーズの把握をし、事業を知ってもらうよう広報に努め、より利用しやすい病児・病後児保育の体制を検討する。</li> </ul>				

20	<b>ケ ショートステイ事業の推進</b>			<b>【26年度までに1か所】</b>	
保護者が病気や仕事、育児疲れなどにより、子どもの養育が一時的に困難になったときに、児童養護施設等でその家庭の子どもと母親を一時的に預かる事業を推進します。					
担当課	こども施設指導監査課 こども青少年支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年3月31日に設置・認可した施設（乳児院・児童養護施設）により、平成23年7月事業開始。</li> <li>・平成25年度実績：利用件数7件。（乳児院5件、児童養護施設2件）</li> </ul>				
今後の予定	・利用事由は様々であるため、委託施設や関係機関と連携しながら円滑な利用を図っていく。				



## 2 安心して子どもを産み育てやすい環境づくり

### (1) 子どもと母親の健康づくり

21	ア 心のケア体制の充実				
子育て中の保護者の心の安定を図るため、新生児訪問や乳児健診時にメンタルヘルスチェックなどを行います。特に出産後から4か月までの母親の孤立感を軽減する取り組みを進めます。保護者のグループミーティングや心理相談を実施し、子育てのストレス軽減を図ります。					
担当課	こども健康課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康福祉センターでメンタルヘルスチェックの後、心理相談員による親のメンタルヘルス相談を実施している。 25年度実績 延90人</li> <li>継続して相談が必要な場合は、こども健康課での親子支援心理相談や精神科医によるメンタルヘルス相談、グループミーティング「ママの時間」につなげている。 25年度実績 延752人</li> </ul>				
今後の予定	今後も引き続き、保護者の心のケアを行う。				

22	イ かかりつけ医の確保				
乳幼児健診や予防接種、講演会などの機会に、かかりつけ医の確保について啓発します。					
担当課	こども健康課 こども育成総務課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>こんにちは赤ちゃん訪問や10か月児健診、予防接種、子育てガイドなどを通して、かかりつけ医の確保について啓発を行っている。</li> <li>18年度から、医療機関の適切な受診に関する保護者の理解を深め、小児救急医療体制を保持することを目的として、小児救急医療講演会「子どもの病気と小児科のかかり方」を開催し、かかりつけ医の確保についても啓発している。25年度実績 4回 参加者92人</li> <li>21年度に作成した小児救急医療講演会の内容をまとめたDVDを、22年度から貸し出すとともに保育園・幼稚園に配布した。また、動画を市ホームページに掲載している。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、こんにちは赤ちゃん訪問や10か月児健診、予防接種、子育てガイドなどを通して、かかりつけ医の確保について啓発を行う。</li> <li>小児救急医療体制保持のための講演会を開催し、DVDの貸出とホームページへの掲載を継続する。</li> </ul>				



26 力 妊娠、出産に関する学習機会の提供					
<p>妊婦とその配偶者を対象に「プレママ、プレパパ教室」を土日、夜間にも開催し、健やかな妊娠と出産に関する学習の機会を提供します。また、子育て支援教室や乳幼児健診の機会に、親子の愛着形成の重要性について市民の意識を啓発します。特に子育てにおける父親の役割について考える機会、情報を提供します。母子健康手帳交付時に各種教室の周知を図ります。</p>					
担当課	こども健康課 保健所健康づくり課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレママ・プレパパ教室を平日、土日、夜間に開催した。 25年度実績 34回（うち土日・夜間18回） 815人（うち配偶者366人）</li> <li>・出産後の親のサポートのため、祖父母を対象とした「グランマ・グランパ教室」を実施した。 25年度実績 4回 42人</li> <li>・プレママ・プレパパのための栄養教室、料理教室を開催した。 25年度実績 プレママ・プレパパのための栄養教室 12回 113人（うち配偶者18人） 楽しいマタニティクッキング 12回 48人（うち配偶者5人）</li> <li>・プレママ・プレパパ教室で使用する母子保健テキスト「HAGUKUMI BOOK」を母子健康手帳交付時に配布し、教室へ参加できない妊婦等へも情報提供している。 25年度実績 3,200部発行</li> <li>・プレママ・プレパパのための歯科教室を開催した。 25年度実績 11回 122人（うち配偶者6人、その他2人）</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、広報や母子健康手帳交付時に各種教室の周知を図り、プレママ・プレパパ教室、プレママ・プレパパ歯科教室を開催する。</li> </ul>				

27 キ 乳幼児事故予防教室の実施					
<p>乳幼児の不慮の事故を予防するため、予防教室を実施するなど市民の意識を啓発します。</p>					
担当課	消防・救急課 こども健康課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
		←————→			
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉センターで、小児事故防止教室（乳幼児救急法講習）を実施している。 25年度実績 12回 173人受講</li> <li>・プレママ・プレパパ教室テキスト「HAGUKUMI BOOK」やこんにちは赤ちゃん訪問で配布している冊子「こんにちは赤ちゃん」で、事故予防のための意識啓発に関する内容を盛り込んでいる。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度は小児事故防止教室（乳幼児救急法講習）を12回開催予定。</li> <li>・引き続き、小児事故防止教室（乳幼児救急法講習）を実施するとともに、「HAGUKUMI BOOK」や「こんにちは赤ちゃん」冊子を活用し、市民の意識啓発を行う。</li> </ul>				

28	ク 特定不妊治療費助成事業等の推進				
不妊治療の経済的負担を軽減するため、配偶者間の特定不妊治療費を助成します。					
担当課	こども健康課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	⇔				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16年10月から特定不妊治療費助成事業を開始。1回15万円(治療内容C・Fについては7.5万円)を限度に1年目のみ年3回、2年度目以降年2回まで、通算5年間、10回まで助成を行っている。 25年度実績 357件</li> <li>・24年10月から不育症治療費助成を開始。1回10万円までは全額、10万円を超える分はその1/2を助成し、1年度あたりの上限は30万円。 25年度実績 4件</li> <li>・17年7月から不妊相談(産婦人科医による相談)を開始、隔月に1回実施している。24年度からは、不育症に関する相談にも対応している。 25年度実績 4人</li> </ul>				
今後の予定	・引き続き、内容を検証しながら事業を実施するとともに、市民への周知を行う。				

29	ケ 救急医療の充実				
救急医療センターの充実、広域病院群輪番制運営事業等の実施など、救急医療を充実させます。					
担当課	地域医療推進課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	⇔				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初期救急医療体制として、指定管理者による救急医療センター(内科、小児科、外科)運営に対し、小児救急医療を業務委託した。</li> <li>また、救急拠点運営事業(耳鼻咽喉科、産婦人科)、広域在宅当番医制・広域救急拠点運営事業(産婦人科)を実施した。</li> <li>・二次救急医療体制として、広域病院群輪番制運営事業(内科、小児科、外科)を実施した。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(新)救急医療センターは、H26年4月1日新港町1-11に移転予定。</li> <li>・救急医療体制について現行制度を継続予定。</li> </ul>				

30	コ 妊婦健診の充実				
安全な出産のために妊婦健診を実施し、妊婦の健康管理の向上と経済的負担の軽減を図ります。					
担当課	こども健康課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	⇔				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健診(実施回数:標準14回+出産予定日以降2回)のうち、1回目10,000円、2~12回目3,500円、13・14回目10,000円、15・16回目3,500円を公費負担している。</li> <li>25年度実績 受診件数33,466件 公費負担額161,863,322円</li> </ul>				
今後の予定	・引き続き、妊婦健診の助成を行い、経済的負担の軽減を図る。				

サ 保健、医療、福祉のネットワークづくり(再掲)

シ 出前型子育て相談、訪問指導、訪問相談の充実(再掲)



33 ウ 食育の推進																									
<p>栄養面だけでなく、食材をつくる人、調理する人などへの感謝の気持ちや食品の安全性に対する意識を啓発し、食を通じた家族のふれあいや子どもの心の成長を促します。また、個食、孤食、拒食、過食といった問題の発生の予防に取り組みます。</p>																									
担当課	保健所健康づくり課 こども健康課 保育運営課 学校保健課																								
対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th>誕生前</th> <th>乳幼児</th> <th>小学生</th> <th>中学生・高校生</th> <th>青年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年																			
誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年																					
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年2月に策定した横須賀市健康増進計画（第3次）横須賀市食育推進計画（第2次）に基づき、市全体の取り組みを推進している。</li> <li>各種教室を開催し、食育を推進している。</li> </ul> <p>25年度実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>プレママ・プレパパのための栄養教室</td> <td>12回</td> <td>113人</td> </tr> <tr> <td>楽しいマタニティクッキング</td> <td>12回</td> <td>48人</td> </tr> <tr> <td>離乳食教室（3～4か月児を対象）</td> <td>66回</td> <td>1,051人</td> </tr> <tr> <td>モグモグ教室（7か月児を対象）</td> <td>24回</td> <td>429人</td> </tr> <tr> <td>パクパク教室（1歳6カ月～2歳6カ月児を対象）</td> <td>12回</td> <td>99人</td> </tr> <tr> <td>すくすく食育教室（3～6歳児を対象）</td> <td>2回</td> <td>24人</td> </tr> <tr> <td>ハミガキセミナー</td> <td>25回</td> <td>789人</td> </tr> <tr> <td>4・5歳児食育・歯みがき教室</td> <td>29回</td> <td>2,478人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児健診の中で食に関する指導を実施している。</li> <li>食事のおたよりを市内の保育園全園に毎月配布。</li> <li>食育の日のポスターを毎月作成し、公立保育園全園で掲示。</li> <li>公立保育園の園長・保育士と保育課管理栄養士・家庭保育福祉指導員らとのコラボレーションによる食育パフォーマンスの実施。</li> <li>学校では、学校給食や給食献立表の活用により、食事の大切さや栄養バランス、食の安全等に対する意識啓発を図った。また、地産産野菜等を統一献立で使用して地産地消を推進した。</li> </ul>	プレママ・プレパパのための栄養教室	12回	113人	楽しいマタニティクッキング	12回	48人	離乳食教室（3～4か月児を対象）	66回	1,051人	モグモグ教室（7か月児を対象）	24回	429人	パクパク教室（1歳6カ月～2歳6カ月児を対象）	12回	99人	すくすく食育教室（3～6歳児を対象）	2回	24人	ハミガキセミナー	25回	789人	4・5歳児食育・歯みがき教室	29回	2,478人
プレママ・プレパパのための栄養教室	12回	113人																							
楽しいマタニティクッキング	12回	48人																							
離乳食教室（3～4か月児を対象）	66回	1,051人																							
モグモグ教室（7か月児を対象）	24回	429人																							
パクパク教室（1歳6カ月～2歳6カ月児を対象）	12回	99人																							
すくすく食育教室（3～6歳児を対象）	2回	24人																							
ハミガキセミナー	25回	789人																							
4・5歳児食育・歯みがき教室	29回	2,478人																							
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、「横須賀市健康増進計画（第3次）・横須賀市食育推進計画（第2次）」の普及啓発を行う。</li> <li>引き続き、各種栄養に関する教室、乳幼児健診を実施し、食育を推進していく。</li> <li>引き続き、食事のおたよりを市内の保育園全園に毎月配布する。</li> <li>引き続き、食育の日のポスターを毎月作成し、公立保育園全園で掲示する。</li> <li>引き続き、公立保育園の園長・保育士と保育運営課管理栄養士・家庭保育福祉指導員らとのコラボレーションによる食育パフォーマンスを実施する。</li> <li>引き続き、学校給食を通じた食育に取り組む。</li> </ul>																								

34 エ 子どもの生活リズムの改善											
<p>保育園や幼稚園、学校での指導や乳幼児健診、子育て支援教室などを通じて子どもにとっての運動や休養の必要性に対する意識を啓発し、子どもの健康を大切にしたい家庭生活となるよう、生活リズムの改善を進めます。</p>											
担当課	こども健康課 保育運営課 学校保健課										
対象	<table border="1"> <thead> <tr> <th>誕生前</th> <th>乳幼児</th> <th>小学生</th> <th>中学生・高校生</th> <th>青年</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年					
誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年							
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>乳幼児健診や各種教室で、生活リズムの必要性について啓発を行うとともに、母子健康手帳交付時に、生活リズムに関する保護者の意識啓発のための情報を提供している。</li> <li>子どもの発達過程に応じた生活リズムや食習慣を把握し、発育・発達に適した生活ができるよう保育を行っている。</li> <li>学校では、学校保健だよりや保健体育の授業などを通じ、食事、運動、休養及び睡眠の大切さや健康に対する児童生徒の意識を啓発した。</li> </ul>										
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、乳幼児健診や各種教室での啓発活動、情報提供を実施する。</li> <li>引き続き、生活リズムの改善に努める。</li> <li>学校保健だより等を通じて健康に対する児童生徒の意識を啓発する。</li> </ul>										







38   <b>エ 体力づくりの推進</b>					
子どもたちの体力の実態を把握するため、小中学校等で新体カテストを実施します。実施結果を体育、保健体育の授業での指導の工夫、改善や子どもたちが自ら進んで体力向上を図ることに活用し、生涯にわたってスポーツに親しむ習慣、意欲、能力を高めます。					
担当課	スポーツ課 教育指導課 保育運営課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校において、体育、保健体育科の授業だけではなく、学校の教育活動全体を通して、子どもたちの体力づくりや健康づくりが推進されている。</li> <li>新体カテストを小・中学校で実施し、体育や保健体育の授業で実施結果を活かした指導を行っている。 25年度実績 小学校 46校で実施 中学校 23校全てで全種目実施 合計点平均 小学校5年生 男子52.31点 女子52.00点 中学校2年生 男子39.64点 女子47.48点</li> <li>幼稚園では、子ども一人一人の発育・発達状態や日々の健康状態に配慮しながら、日常的な遊びや運動などを通して、体力づくりができるよう保育を行っている。</li> <li>保育園、幼稚園では、子ども一人一人の発育・発達状態や日々の健康状態に配慮しながら、日常的な遊びや運動などを通して、体力づくりができるよう保育を行っている。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内全体の児童生徒の健康体力、運動習慣の状況について把握し、調査結果を検証するとともに対策を検討し、それぞれの調査結果や相関関係を児童生徒及び保護者へ提供します。</li> <li>新体カテストは、合計点平均 小学校5年生男子55.4点・女子56.4点、中2男子44.6点・女子51.4点を目標とする。</li> <li>引き続き、体力づくりの推進に努めていく。</li> </ul>				

39   <b>オ 男女が協力して子どもを育てることの意義に関する学習の機会の提供</b>					
家庭の役割の大切さや男女が協力して家庭を築き、子どもを育てることについての学習の機会を提供します。					
担当課	教育指導課 人権・男女共同参画課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学校・中学校・高等学校の家庭科において、家庭の役割や大切さ、男女の協力等についての学習を行っている。</li> <li>広報紙『ニューウェーブ』で男女共同参画についての意識の啓発を行った。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、学校において家庭の役割や大切さ、男女の協力等についての学習を実践していく。</li> <li>市民向けの男女共同参画に関する講座やなどを開催していく中で、性別による固定的役割分担意識の改善など、啓発を図る。</li> </ul>				

40   <b>カ 幼児教育の推進</b>					
幼児教育の充実のため、幼児教育振興プログラムの策定について検討します。					
担当課	教育指導課 教育・保育支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の幼児教育振興アクションプログラムの後に続く計画の状況や、子ども・子育て新制度の動向を見据えながら、策定を検討した。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、国の幼児教育振興アクションプログラムの後に続く計画の状況や、子ども・子育て新制度の動向を見据えながら、検討する。</li> </ul>				

41	キ 就学前教育と小学校教育の連携				
就学前の子どもがスムーズに小学校での生活に移行できるよう幼稚園、保育園と小学校との連携を図ります。					
担当課	教育指導課 保育運営課 教育・保育支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	↔				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立及び私立幼稚園、保育園と小学校の参加希望者による情報交換会を開催している。</li> <li>・保育指針の改正に伴い、21年度から保育園で保育所児童保育要録を作成し、小学校への送付を開始した。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、研修会等により保育園、幼稚園、小学校間の連携を図る体制づくりを進める。</li> </ul>				

### ク 関係部局での相談体制の充実と情報提供(再掲)

### ケ 地域での相談体制の充実と情報提供(再掲)

## (2) 家庭や地域の教育力の向上

42	ア 家庭教育の推進				
乳幼児健診や予防接種などの機会に、ブックスタート・パックや子育てに関する講座などの情報を提供します。PTA協議会に家庭教育講演会を委託したり、コミュニティセンターで各種家庭教育学級を実施したりして、家庭の教育力の向上を図ります。					
担当課	こども健康課 生涯学習課 中央図書館 地域コミュニティ支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	↔				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周産期支援教室や育児支援教室、健診等で子どもの年齢や状況にあった情報提供や相談を行っている。</li> <li>・小中学校等PTAを対象とする家庭教育講演会の実施を、横須賀市PTA協議会に委託した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>25年度実績 一日 時：6月21日(金) 10時～11時30分</li> <li>テーマ：コミュニケーションの極意</li> <li>講師：東京工芸大学芸術学部教授 大島 武 氏</li> <li>日 時：9月19日(木) 10時～12時</li> <li>テーマ：第1回読書推進講演会 読み聞かせボランティア向け講座</li> <li>講師：豊島小学校PTA学校図書館ボランティア他</li> <li>日 時：9月26日(木) 10時～12時</li> <li>テーマ：第2回読書推進講演会 蔵書管理・環境整備ボランティア向け講座</li> <li>講師：学校図書館コーディネーター・学校図書館サポーター</li> <li>日 時：2月28日(金) 10時～12時</li> <li>テーマ：「お母さんはスゴイ!～子育てに夢を～」</li> <li>講師：(株)トランタンネットワーク新聞社代表 藤本 裕子 氏</li> </ul> </li> <li>・ブックスタートパック配付数 <ul style="list-style-type: none"> <li>25年度実績 2,269件(配付率100.0%) (配布数/BCG接種児数)</li> </ul> </li> <li>・親子を対象にした講座として、夏休み親子教室、音楽を通じた親子体操、読み聞かせなどの家庭教育学級を多くのコミュニティセンターで実施している。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、周産期支援教室や育児支援教室、健診等で子どもの年齢や状況にあった情報提供や相談を実施していく。</li> <li>・26年度についても家庭教育講演会の実施を委託する予定。</li> <li>・26年度については家庭教育関係に関する講座を生涯学習センターで実施する予定。</li> <li>・ブックスタートパックについては、BCG接種児全員へ配付し、読み聞かせの意義などを説明、家庭での読書環境づくりを支援していく。</li> <li>市内6ヶ所の健康福祉センターで実施されるBCG接種の際に配付を行う。</li> <li>・コミュニティセンターにおいて、引き続き、親子対象の講座を開講講座の選択肢の一つとする。</li> </ul>				

43	イ 保育園、幼稚園等での家庭教育への意識啓発				
乳幼児保育と幼児教育の専門知識を生かし、保育園、幼稚園において、家庭での子どもとの関わりについての保護者の意識を啓発します。					
担当課	保育運営課 教育・保育支援課 教育指導課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
		←————→			
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園では、専門知識を生かし、児童の保護者からのさまざまな保育相談に対し助言や指導などを行い、保護者への意識啓発を含め、子育て支援を実施している。幼稚園でも、懇談会や講演会等の機会を設けるとともに、日常的にも個々のケースに対応する中で保護者への意識啓発を図っている。また、保護者との関わりが向上するよう保育士・幼稚園教諭を対象に研修を実施し、意識啓発を行っている。</li> <li>・保護者との関わりが向上するよう保育士・幼稚園教諭を対象に研修を実施し、意識啓発を行っている。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、保育園や幼稚園において、専門知識を活かし、相談への助言や指導を行うなど家庭での児童との関わりに対する保護者への意識啓発を行う。また、保育士や幼稚園教諭を対象に研修を実施し、よりよい援助ができるよう取り組む。</li> </ul>				

#### ウ 地域での相談体制の充実と情報提供（再掲）

#### エ 子育てグループ等の活動支援（再掲）

### (3) 放課後児童の居場所の確保

44	ア みんなの家、わいわいスクールの運営と学童クラブの支援 【26年度までに学童クラブ 60か所 1,800人利用】				
全児童を対象としたみんなの家（青少年の家）とわいわいスクールの運営、放課後児童を対象とした学童クラブに対する助成を行い、放課後、子どもたちが安心して過ごせる生活の場、遊びの場を確保します。学童クラブについては、安定した運営が確立されるよう、小学校の教室の活用等による場の確保を含め、制度の充実に努めます。青少年の家指導員、放課後児童指導員の研修会を開催し、子どもとの接し方や指導についての知識と技術向上を図ります。					
担当課	教育・保育支援課 こども育成総務課 教育委員会総務課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
			←————→		
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童クラブ53か所（小学校の教室を活用した学童クラブ14か所） 1,537人利用 わいわいスクール6校</li> <li>・放課後児童指導員基礎研修全10回、放課後児童指導員行政研修全3回実施</li> <li>・浦郷小学校への学童クラブの設置を進めた。</li> <li>・青少年の家指導員、放課後児童指導員の研修を実施（2回）</li> <li>・青少年の家指導員、放課後児童指導員研修会 「子ども施設の指導員セミナー」（県主催）受講</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に学童クラブの数を増やすことから、質が確保された量の整備を今後図っていく。</li> <li>・引き続き、青少年の家指導員、放課後児童指導員の研修を実施し、知識と技術の向上を図る。</li> <li>・今後、諸条件が合致する場所において、小学校の教室を利用する学童クラブを積極的に増やしていく。</li> </ul>				



48	ウ 若者の就労意欲の醸成				
就職を目指す青少年を対象にセミナーや相談などを行い、若年未就労者の自立支援、適性職業選択の機会を提供します。また、就職に向けた資格取得の支援や、職場見学、職場体験などのキャリア教育に取り組み、若者の就労意欲を醸成します。					
担当課	経済企画課 教育指導課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主に若者（30歳代まで）の求職者を支援する「就職応援塾」「職業能力セールスポイント表現講座」を県と共催で開催した。25年度実績 5回開催 45人</li> <li>・就職に関する情報をホームページに掲載し、情報提供を行った。</li> <li>・就職に関する情報を学校に提供するとともに、職業観・勤労観を醸成するためにキャリア教育を推進し、中学校全校で職場体験学習を行っている。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、県との共催による就職支援セミナーの開催、ホームページによる情報提供を行う。</li> <li>・学校で、引き続きキャリア教育を推進し、若者の職業観・勤労観を醸成する。</li> </ul>				

49	工 学校外での多様な体験				
子どもと青少年が異年齢とふれあったり、国内外の子どもや青少年と交流したりする機会を提供します。また、環境学習や野外活動、農業体験など、学校外でのさまざまな体験活動を促進します。					
担当課	こども育成総務課 こども青少年支援課 こども健康課 国際交流課 環境企画課 農林水産課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなの家サポーター制度により、サポーターがみんなの家（青少年会館）を利用するこどもたちに遊びなどを教え、世代間の交流を図っている。</li> <li>双子、三つ子を対象とした年2回のツインズ全体会において、中高生を含めた保育ボランティアを社会福祉協議会ボランティアセンターを通じて受け入れている。 25年度実績 40人</li> <li>健康福祉センターにおいて、中高生の職場体験を受け入れている。</li> <li>内閣府、県の国際交流事業をポスター掲示等により周知した。</li> <li>本市姉妹都市交換学生制度は市内の高校に募集要項配布や写真展開催のPRを行った。</li> <li>姉妹都市からの交換学生受け入れ期間中に、「国際コースフォーラム」を開催した。 7月19日 総合福祉会館 75人参加</li> <li>日本人と外国人の親子が参加するハロウィン・フェスティバルを開催した。 10月27日 ウェルクよこすか 214人参加</li> <li>日本の歴史や文化への理解を深めるため、日本文化体験教室を開催した。 6月8日 総合福祉会館 233人参加 11月30日 総合福祉会館 1,215人参加 (ジャパン フェスティバル イン よこすか) 3月1日 総合福祉会館 380人参加</li> <li>猿島において、森林インストラクター等を講師とし、自然観察を中心とした体験的な環境学習を実施。 親子対象 6月2日(土) 51人参加(保護者23、小学生25、未就学3) 汐入小学校 6月4日(火) 24人参加(3年生21、教員3) 馬堀小学校 6月11日(火) 45人参加(3年生41、教員4) 諏訪小学校 6月28日(金) 58人参加(3年生54、教員4) 森崎小学校 7月12日(金) 66人参加(6年生63、教員3) 追浜小学校 10月9日(水) 26人参加(3年生24、教員2) 豊島小学校 10月23日(水) 38人参加(3年生35、教員3) 船越小学校 11月8日(金) 87人参加(3年生83、教員4)</li> <li>地元農家所有の水田や学校田において、農業従事者等が講師となり、田植え、稲刈り作業等を通じて体験的な環境学習(田んぼ学校プログラム)を実施。 野比東小学校 5年生(58名) 久里浜小学校 5年生(135名) 公郷小学校 5年生(90名)</li> <li>再生された里山的環境(沢山池の里山)において、自然保護団体等のメンバーが講師となり、小学校3年生以下の親子を対象にネイチャーゲームや自然観察会等を通じて体験的な自然環境教育を実施。 親子の自然遊び 5月25日(土) 25人参加(保護者8 子供17) 親子の自然遊び 10月6日(日) 13人参加(保護者6 子供7)</li> <li>夏と冬に小学生を対象とする農業体験を実施した。 夏の農業体験 7月6日(土)実施 小学5・6年生 48人参加 冬の農業体験 1月25日(土)実施 小学5・6年生 46人参加</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、みんなの家サポーター制度により、子ども青少年と異なる年齢との世代間交流を図る。</li> <li>引き続き、ツインズ全体会など保育を要するイベントでの保育ボランティアを積極的に呼びかけるとともに、健康福祉センターにおいて中学生の職場体験の受け入れを行う。</li> <li>引き続き、国際交流や日本文化の体験教室・イベント等を開催し、子どもや青少年の多文化共生への理解を深める。</li> <li>引き続き、自然観察や里山的環境を活用した体験的な環境学習を実施する。</li> <li>引き続き、農業体験を実施する。また、新たに親子を対象とした酪農体験を実施する。</li> <li>平成26年度以降、新たに再生された水田等において希望する学校に対し体験的な環境教育(田んぼ学校プログラム)を実施。</li> </ul>				

(5) 青少年を取り巻く環境の健全化

50 ア 社会環境健全化活動の推進【26年度までに青少年健全育成協力店事業 300店舗登録】					
<p>青少年育成推進員など関係団体の協力を得て、青少年の非行問題が発生しやすい場所をパトロールするなど、青少年の非行防止に取り組みます。また、酒、たばこの未成年者への販売禁止、有害図書の区分陳列、青少年の深夜立ち入り制限などの法令順守や青少年の見守りなどについて、事業者との協力関係をつくります。</p>					
担当課	こども育成総務課 こども青少年支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校区ごとに組織されている青少年育成活動地域連絡会にパトロール等の青少年育成活動を委託した。</li> <li>・ 青少年育成推進員連絡協議会に委託し、市内11か所で非行防止キャンペーンを実施した。</li> <li>・ 古書店における有害図書類の陳列状況やカラオケボックス、インターネットカフェ、まんが喫茶などの実態を把握するため、青少年育成推進員連絡協議会に社会環境実態調査を委託した。</li> <li>・ 市巡回指導員による街頭指導を年間通じて行っている。 25年度実績 青少年巡回指導件数 228件 青少年健全育成協力店264件</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、中学校区ごとに組織されている青少年育成活動地域連絡会にパトロール等の青少年非行防止活動を委託する。</li> <li>・ 引き続き、青少年育成推進員連絡協議会に市内での非行防止活動等事業委託を行い、非行防止キャンペーンを実施する。</li> <li>・ 引き続き、青少年育成推進員連絡協議会に、カラオケボックス、インターネットカフェ、まんが喫茶、および書店の状況を把握するための社会環境実態調査を委託する。</li> <li>・ 関係団体の協力を得て、通報などから個別に非行問題が発生していると思われる場所へも巡回するなど、積極的に青少年の非行防止に取り組む。</li> </ul>				

51 イ 青少年を取り巻く環境の健全化に関する意識啓発					
<p>インターネット上のトラブルや非行を防止するため、青少年にとって望ましい環境づくりなどについて出前トークを開催します。また、中学校区ごとに組織されている青少年育成活動地域連絡会が行うミニ集会を支援し、青少年が健やかに成長する社会環境づくりに対する市民の意識を啓発します。</p>					
担当課	こども青少年支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 25年度実績 ユース出前トーク 4回</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユース出前トークの中で、講演者と聴講者が情報交換を行い、情報を共有することにより内容の充実を目指していく。</li> </ul>				







(2) 父親の子育て参加の促進

56	ア 子育て中の父親のネットワークづくり				
<p>父親同士が子育てに関する相談や情報交換を行う機会をつくったり、父親向けの子育て冊子による情報提供をしたりして、父親が子育てに参加する意識を啓発します。初めて子育てに臨む父親に、子育て経験のある父親の経験談やアドバイスを聞く機会を提供したり、父子で参加できる体験教室などを開催し、父親同士のネットワークづくりを促進します。</p>					
担当課	こども育成総務課 保育運営課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
	←————→				
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土・日に25年度3月末実績、10回父親のための子育て講座を実施し父親同士の交流の場や子どもとの関わりについて学ぶ場を提供した。</li> <li>・お父さんのための子育てガイドの冊子を作成し、母子手帳交付時等に配付している。</li> </ul> <p>25年度 実績4,000部作成</p>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続きガイドの配布、子育て講座の開催など、父親の子育て支援を行っていく。</li> </ul>				

イ 妊娠、出産に関する学習機会の提供（再掲）

## 5 特に支援を必要とする子どもとその家庭への支援の充実

### (1) 相談体制の充実

ア 関係部局での相談体制の充実と情報提供（再掲）

イ 地域での相談体制の充実と情報提供（再掲）

### (2) 児童虐待防止対策の充実

57	ア 子どもの人権に関する意識啓発、学習機会の充実				
学習会や出前トークなどの開催により、いじめや虐待の防止、命の大切さなどについて、子どもや青少年をはじめ、広く市民の意識を啓発します。					
担当課	こども育成総務課 こども青少年支援課 こども健康課 児童相談所 人権・男女共同参画課 教育指導課 生涯学習課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生を対象としたデートDV防止啓発講演会を2回開催。</li> <li>・ 児童虐待防止推進月間の駅頭キャンペーンで配布するオレンジリボンを3,000個作成した。</li> <li>・ 児童虐待防止推進月間の取り組みとして、アナウンスをしながら市内を巡回した。</li> <li>・ 「子ども虐待防止オレンジリボンたすきリレー」について、平成25年10月27日（日）に鎌倉・三浦・横須賀コースを共催し、久里浜商店街・横須賀中央駅前・追浜駅周辺においてチラシの配布等のイベントを行った。</li> <li>・ 母子保健事業で中学生の職場体験や、双子、三つ子を対象としたツインズ全体会で学生保育ボランティアを受け入れ、妊婦や乳幼児とその保護者とのふれあいの体験を通して、命の大切さや妊婦や子ども達への思いやりの気持ちを育てる機会としている。</li> <li>・ 子どもの人権については、教育委員会、こども育成部及び市民部が連携し、子どもの人権全般について正しい理解の普及を図るために、「子どもの権利条約」の趣旨をやさしく解説した各種パンフレット（小学校低学年・小学校高学年・中学生用）や施設入所児童のための子ども権利ノートを配布するなど啓発に努めている。</li> <li>・ 学校教育においては、道徳の時間や日々の教育活動全体を通して、いじめや虐待の防止、命の大切さなどについて、学習を深めた。</li> <li>・ 子どもたちが今、置かれている現状を見つめ、子育て、子どもの人権、子どもたちとの関わり方などを考える講座として、「子どもと人権講座」を年3回開催した。</li> <li>・ 中・高校生の親（保護者）を対象としたデートDV防止啓発講演会を11月に開催した。</li> <li>・ 「人権施策推進会議」において、「児童虐待」にかかわる施策・事業の評価を行なった。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続きデートDV防止啓発講演会を実施する。</li> <li>・ 引き続き、中学生の職場体験や、ツインズ全体会での学生保育ボランティアの受け入れにより、妊婦や、乳幼児とその保護者とのふれあいの機会を提供していく。</li> <li>・ 引き続き、学校教育における人権教育、道徳教育の充実を図っていく。</li> <li>・ 引き続き、「児童虐待防止推進月間」キャンペーンを実施する。</li> <li>・ 今後は、指針に基づく人権施策を推進していくとともに、引き続き、「子どもの権利条約」リーフレット等の配布、出前トークなど具体的な取り組みを進めていく。</li> <li>・ 25年度は「人権施策推進会議」において、「児童虐待」にかかわる施策・事業の評価を行う予定。</li> <li>・ 26年度も、「子どもと人権講座」を年3回開催する予定。</li> </ul>				

58 イ 児童虐待の発生予防と早期発見、早期対応					
こども家庭地域対策ネットワーク会議を活用して子育て支援関係機関の連携を図り、健康福祉センター、保育園、幼稚園、学校等において、子ども虐待の発生予防、早期発見、早期対応に努めます。					
担当課	こども青少年支援課 こども健康課 児童相談所 支援教育課 保育運営課 教育・保育支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待を受けている子どもをはじめとする要保護児童等の早期発見、早期支援に向け、関係機関による情報提供や支援方針の確認、各機関の役割分担の明確化を図るため、こども家庭地域対策ネットワーク会議全体会議を年1回、実務担当者連絡会議を市内4地区で年2回、サポートチーム会議を151回開催した。</li> <li>妊婦の全数把握、こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健診等の母子保健活動の中で、要支援者の早期発見、早期支援に努め、他機関との連携を図り、問題の重症化を防いでいる。</li> <li>児童相談所は、通告後48時間以内の「子どもの安全確認」の徹底に努めた。</li> <li>ネットワーク会議を通じての、児童相談所・健康福祉センター・県警少年相談保護センターなどとの役割分担や連携が、事実の正確な把握及び問題の未然防止・早期対応に結び付いた事例が多くみられた。</li> <li>児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応を念頭に置き、保育士が児童の様子を観察している。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、横須賀市こども家庭地域対策ネットワーク会議全体会議を年1回、実務担当者連絡会議を4地区で年2回、サポートチーム会議を随時開催し、関係機関の連携を強化する。</li> <li>引き続き、母子保健活動等の中で、問題の早期発見、早期支援を行い、問題の重症化防止に努めていく。</li> <li>引き続き、児童の様子を観察し、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応に努める。</li> <li>研修会や連絡会を通して、児童相談所や関係機関との連携を深めていく。</li> </ul>				

### (3) ひとり親家庭の自立支援の推進

59 ア ひとり親家庭の生活基盤の確保に向けた取り組みの推進					
自立支援教育訓練給付金や高等職業訓練促進給付金の支給、就労支援セミナーの開催などにより、母子家庭等の自立を支援します。					
担当課	こども青少年給付課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援教育訓練給付金と高等職業訓練促進給付金を支給した。（事業開始からの累計）</li> <li>自立支援教育訓練給付金：184人（介護職員（旧ホームヘルパー）初任者研修ほか）</li> <li>高等職業訓練促進給付金：延213人（看護師：196人、介護福祉士：2人、保育士：6人、理学療法士：4人、歯科衛生士：3人、作業療法士：2人（看護師には、准看護師を含む））</li> <li>就労支援セミナーを神奈川県、横浜市、川崎市及び相模原市と共催で開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>3日間×各2講座×2回（7月、10月）</li> </ul> </li> <li>【平成25年度新規事業】</li> <li>就労相談員を配置し、就労相談を7月から開始した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>相談者数114人、就労決定者数42人</li> </ul> </li> <li>シングルマザーサポートプラン（PC操作講習等）を（公財）横浜市男女共同参画推進協会に委託して実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>受講者：延68人</li> </ul> </li> <li>ひとり親就労支援セミナーを（公財）横浜市男女共同参画推進協会に委託して横須賀市内で開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>受講者数：延66人</li> </ul> </li> <li>就労支援プチ講座をNPO日本キャリア・コンサルタント協会へ委託して開催する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>受講者数：延5人</li> </ul> </li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>自立支援教育訓練給付金、高等職業訓練促進給付金及び就労支援セミナーを継続実施する。</li> <li>平成27年度までの期間限定で、自立支援教育訓練給付金に3割上乗せし、5割給付とする。</li> <li>引き続き、就労支援セミナー、シングルマザーサポートプラン等の各種講座を開催するとともに、就労相談事業を開始した。</li> </ul>				

60	イ ひとり親家庭の仲間づくりの推進				
ひとり親の子育ての孤立化を防ぐため、情報交換や仲間づくりのための交流会を開催します。					
担当課	こども青少年給付課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり親家庭等交流会を開催し、当事者間の悩みの共有、交流の促進及び情報交換を行った。</li> <li>平成25年度実績 ひとり親サポーターズひまわりに委託して開催した。</li> <li>参加者大人52人</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、ひとり親団体への委託とし、年6回実施する。</li> <li>ひとり親団体への委託とすることで、当事者団体ならではのニーズ把握と対応が期待できる。</li> </ul>				

#### (4) 障害児施策の推進

61	ア 経過健診（フォローアップ教室）の充実				
乳幼児健診後、発達の経過観察を行いながら、今後の子どもの療育や子育てについて保護者とともに考える場であるフォローアップ教室の開催方法などについて検討し、内容を充実させます。					
担当課	こども健康課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年度末に健康福祉センター毎に振り返りを行い、次年度に向けてフォローアップ教室の内容を検討している。また、職員のスキルアップのために、外部の研修にも参加している。</li> <li>25年度実績 フォローアップ教室 82回 698人</li> <li>年1回の心理相談員連絡会や、療育相談センターと健康福祉センターの連絡会を通じて、各機関の役割・連携について確認し、フォローアップ教室の内容の充実につなげている。</li> </ul>				
今後の予定	引き続き、年度ごとの検討を重ね、また関係機関との連絡会を通じて、フォローアップ教室の内容の充実を図る。				

62	イ 療育相談センターの充実				
発達の遅れや障害のある子どもに、保育園、幼稚園、学校等の地域と連携した支援を行います。診療所での診療や訓練、知的障害児通園施設と肢体不自由児通園施設での個別計画に基づく療育支援のほか、療育相談や巡回相談、各種教室を実施します。					
担当課	こども青少年支援課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<p>※平成24年度より児童福祉法の改正に伴い、知的障害児通園施設は福祉型児童発達支援センター、肢体不自由児通園施設は医療型児童発達支援センターになった。</p> <p>診療所—初診471人、再診1,120人 保護者勉強会—7回、参加者人数 延169人  通園施設—在籍：医療型20人、福祉型75人 延8,325人  相談—電話1,867件、面接1,116人、巡回 延403件（訪問回数 幼稚園96、保育園53、学校85、他1）  教室—親子教室229回、延1,394人 早期療育・療育教室256回、延1,362人</p>				
今後の予定	引き続き診療所業務、通園業務、相談支援事業などの地域生活支援業務、保護者支援のための勉強会等を実施し、一貫した支援体制の充実を図る。また、保育園、幼稚園、学校に在籍する児童に対し、巡回相談の実施や発達支援コーディネーター等と連携した支援を行う。				

63	ウ 障害福祉サービスと地域生活支援事業の充実				
ホームヘルパー派遣やショートステイ等の充実を図ります。また、サービス提供者の資質向上に向けた研修を行います。					
担当課	障害福祉課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児とその家族を支援するため、障害者総合支援法の定める居宅介護（ホームヘルプサービス）は45事業者、移動支援事業所36事業者、短期入所（ショートステイ）2事業者がサービスを提供している。</li> <li>・サービス事業者を対象に集団指導講習会及び障害者の権利擁護についての研修を実施した。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き研修を実施していくとともに、併せて、個別のケースワークの中でサービス事業者の資質向上を図っていく。</li> </ul>				

64	エ 障害の多様化にともなう教育的ニーズに対応した支援				
障害の多様化に対応した教育支援が行えるよう、特別支援教育コーディネーター連絡会や相談支援チームが学校を訪問する巡回指導を行います。特別支援学校（ろう、養護学校）は障害のある子どもの教育支援拠点として、学校や保護者の求めに応じてさまざまな相談に対応します。各学校は保護者や関係機関と連携して就学前から就労までを見据えた個別の教育支援計画を必要に応じて作成、実施します。					
担当課	支援教育課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ろう学校・養護学校・相談支援チームによる巡回相談38回。</li> <li>・個別の教育支援計画を作成している学校69校（小学校46校・中学校23校）。</li> <li>・特別支援学校による教育相談の実施。 （※特別支援教育コーディネーターは、平成24年度から支援教育コーディネーターに名称変更）</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き巡回相談の実施、特別支援学校の教育相談の実施・個別の教育支援計画の作成の推進に取り組む。</li> </ul>				

65	オ 障害児入所施設の整備				
障害児支援施設として、重症心身障害児施設と知的障害児施設を整備します。					
担当課	こども施設指導監査課				
対象	誕生前	乳幼児	小学生	中学生・高校生	青年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・23年8月 重症心身障害児者施設（新 医療型障害児入所施設）の設置・運営予定者（社会福祉法人）を公募により決定した。</li> <li>・25年2月 当該法人が施設の工事を着工した。</li> <li>・26年3月 施設が設置され、認可をした。</li> </ul>				
今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症心身障害児者施設は、次のスケジュール（予定）で事業を進める。また、知的障害児施設については、重症心身障害児者施設の設置後、県内施設の状況を確認し、施設の必要性を含め検討を実施する。 26年度5月 事業開始</li> </ul>				



